

平成28年の犯罪抑止目標について

1 抑止目標

目指すもの ～ 安全・安心な滋賀の実現

スローガン ～ 滋賀県は絶対に犯罪を許しません！

犯罪抑止目標 ～ 「さらなる減少を目指して」 ～ みんなでチャレンジ！アンダー11,000件 ～

◆◆◆ 設定理由 ◆◆◆

(1) 設定の趣旨

本県の犯罪は、ここ数年の間、増減を繰り返す状況にあったが、平成26年、27年と2年連続で減少し、平成27年中は昭和56年以降最少の11,310件（暫定値）となった。今後も県民が自らの問題として防犯意識を高めるとともに、自助・共助により犯罪抑止に取り組み、安全で安心して暮らせる滋賀を実現するため、さらなる減少を目指していくもの。

(2) 滋賀県基本構想との整合性

◆ 滋賀県基本構想における、犯罪抑止に関する目標とする指標は、平成30年において「犯罪率（人口1万人当たりの犯罪認知件数）を全国平均以下」としており、平成27年は目標を達成できた。

◆ 平成28年における犯罪率の全国平均は、最近5年間の数値等から78と推計され、この犯罪率を滋賀県に当てはめると犯罪認知件数は約11,090件となり、基本構想の目標を達成するにはこの数値を下回る数値目標が必要となる。



以上を勘案し、平成28年の犯罪抑止目標については、基本構想の指標である「犯罪率全国平均以下」の達成も見据え、県民が分かりやすく目指しやすい「11,000件以下」とし、犯罪抑止目標は「さらなる減少を目指して～みんなでチャレンジ！アンダー11,000件～」とする。

2 重点犯罪の指定

	項目	設定理由
1	特殊詐欺	高齢者を中心に被害が後を絶たないことから最重点とする ～ 平成27年4月に安全なまちづくり条例を改正して特殊詐欺被害防止を推進中であるところ、特殊詐欺被害は高原状態にあり、最重点課題として被害防止対策を推進 ＊ 件数 114件（前年比△7件）、被害額 約441百万円（同△125百万円） 高齢者（65歳以上）の割合 件数 45.6%、被害額 65.9%
2	子ども・女性対象犯罪	世論の関心が高く、体感治安に直ちに影響する ～ 大阪府で発生した中学生誘拐殺害事件のように世論の関心が極めて高く、体感治安に直ちに大きな影響を与える犯罪 ＊ 性犯罪（強姦、強制わいせつ、痴漢等）292件（同△6件） 声かけ・つきまとい事案 551件（同+134件）
3	自転車盗	犯罪総量を押し上げる1番目の要因 ～ 「ロックでガード大作戦」により対策が定着されつつあるが、平成27年中の全刑法犯に占める割合は約2割で、また、依然として無施錠率は高く、利用者へのさらなる対策が必要 ＊ 件数 2,507件（同△159件）、無施錠率 69.4%
4	万引き	犯罪総量を押し上げる2番目の要因 ～ 自転車盗に次ぐ高い発生件数で、全刑法犯の約1割を占め、事業者と連携した啓発活動等により発生件数が減少したが、高齢者対策などさらなる抑止対策が必要 ＊ 件数 1,204件（同△81件）、20歳未満 15.4% < 70歳以上 26.1%
5	住宅侵入盗 （空き巣、忍込み、居空き）	体感治安に著しく影響する ～ 強盗等の凶悪事件に発生する恐れが高く、県民の体感治安に大きな影響を与える犯罪 ＊ 件数 449件（同+76件）